

Rコース <上稲子地区>

平家落人伝説の里をたずねるコース

— みどころ —

稲子川沿いに広がる上稲子は、その昔戦いに敗れた平維盛が落ち延びた場所とされ、「枇杷窪」といった平家にまつわると考えられる地名が残る。平家落人伝説の里を巡る。

みどころポイント 伝説 季節の花 山間の風景

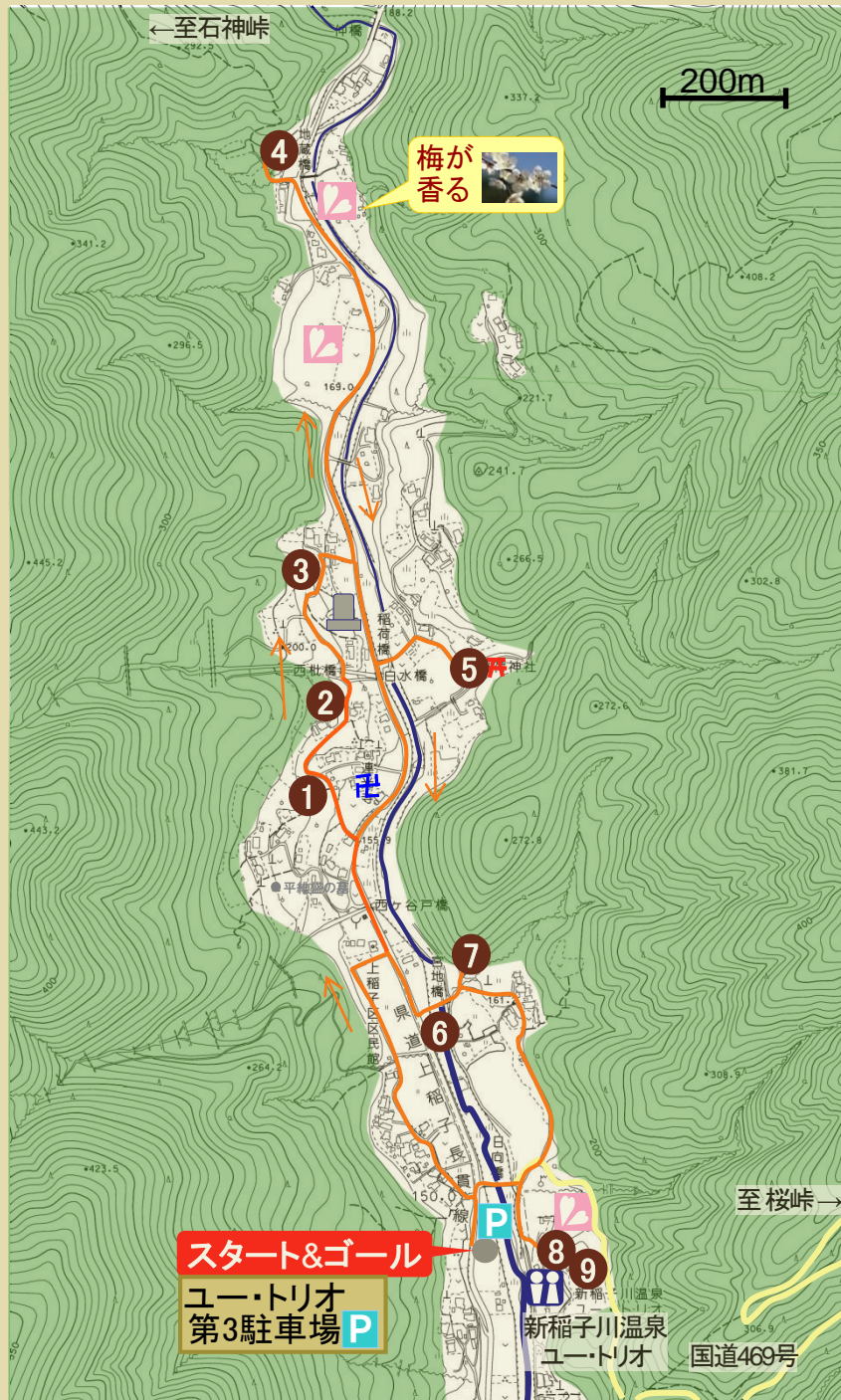


③平家落人伝説と地名(枇杷窪)



ユー・トリオ第3駐車場
上稲子1219

スタート



ゴール

距離: 約5km 所要時間: 約2時間

マークの凡例: 観察ポイント ● ルート — トイレ ♪ 駐車場 P 寺院 卍 神社 卍
石造物 石造物 季節の花

— コースのみどころ —

① 浄泉寺跡

ここには正法寺(上柚野)末寺の浄泉寺があったが、廃寺となり、現在は歴代住職の墓や石造物が残されている。浄泉寺には、明治 13 年(1880)~16 年(1883)まで「有楽洞」(市立稲子小学校の前身)が置かれていた。

② 山ノ神社

上稲子の山ノ神社の総社とされる。社殿には獣に乗る男神像が祀られている。

③ 平家落人伝説と地名(枇杷窪)

上稲子には平家落人伝説が伝わり、それにまつわる地名(小字)がある。「枇杷窪」は、「平家物語」を語る琵琶法師の「琵琶」に音が通じるとされる。

④ 六地藏石幢

この付近の小字名は「地蔵堂」という。ここに六地藏が刻まれた石幢がある。石幢とは、六角柱や八角柱の幢身(胴体)に経文や仏像を刻んだ石塔である。

⑤ 森稲荷神社

周辺の枇杷窪・森・神矢野・地蔵堂の4集落が祀る。かつては、2月初午の祭礼に芝居が行われたり露店が立ったりしてにぎわったという。

⑥ 稲子川

稲子川は、天子ヶ岳を水源とし、北から南へと流れ、下稲子で富士川に合流する。川沿いには各集落が展開する。また、上流には「天子七滝」と呼ばれる滝がある。

⑦ 上稲子八幡宮

上稲子の氏神である。社殿に祀られた厨子(富士宮市指定文化財)には応神天皇・仲哀天皇・神功皇后の3体の神像が納められている。厨子は幕末のものと伝えられ、近年修復された。

⑧ 道祖神

双体道祖神があり、どんど焼きの際、ここには飾り物「ヤナギ」が立てられる。また、ここは、桜峠に至る「宇登坂」と呼ばれる場所で、道祖神のほかにも甲子と金比羅が祀られている。

⑨ 身延道

上稲子には身延山久遠寺(山梨県身延町)に至る身延道が通っている。下柚野から上稲子に至る桜峠には、台座に「みのぶへ七里」と刻まれた文久2年(1862)造立の題目塔がある。また、上稲子からは石神峠を越えて佐野(山梨県南部町)に向かう。

平家落人伝説

治承・寿永の乱に敗れた平家一門やその家来らが落ち延び、隠れ住んだと伝えられる「平家落人の里」が日本各地にある。上稲子もその一つで、平家落人伝説にまつわる地名が伝わっている。